

これからの10年間を見据えた倉吉市の指針（第11次倉吉市総合計画）

“くらしよし”ふるさとビジョン

【概要版】

◆みんなで目指す倉吉市の将来都市像

「くらしよし”ふるさとビジョン」において、わたしたちみんなで実現を目指す倉吉市の将来都市像を、次のとおり掲げます。

**愛着と誇り 未来いきいき
みんなでつくる倉吉**



「くらしよいふるさとを」

近年、国内の社会経済動向が激しく変化する一方、行政サービスへの人々のニーズが多様化・高度化しており、今後ますます財政上の制約が高まる中で、行政がすべてのニーズを一手に引き受け、さまざまな地域課題を単独で解決することは限界にさしかかっています。

このような状況下、倉吉市では新たな時代に対応したまちづくりを進めるため、「くらしよし”ふるさとビジョン」（第11次倉吉市総合計画）を定めます。倉吉市に住む人、働く人、学ぶ人など、わたしたちみんながそれぞれの責任と役割を自覚し、支え合いながら、目指すまちの将来都市像、その実現に向けた取組方針などを示し、多くの人たちから住み続けたい、訪れたいと強く支持され、次世代に誇りと自信を持って継承できる倉吉市を確立していきます。

◆まちづくりの基本姿勢

すべての分野に共通する倉吉市のまちづくりの基本となる考え方を、基本姿勢として示します。

基本姿勢1 わたしたちみんなが主役のまちづくり

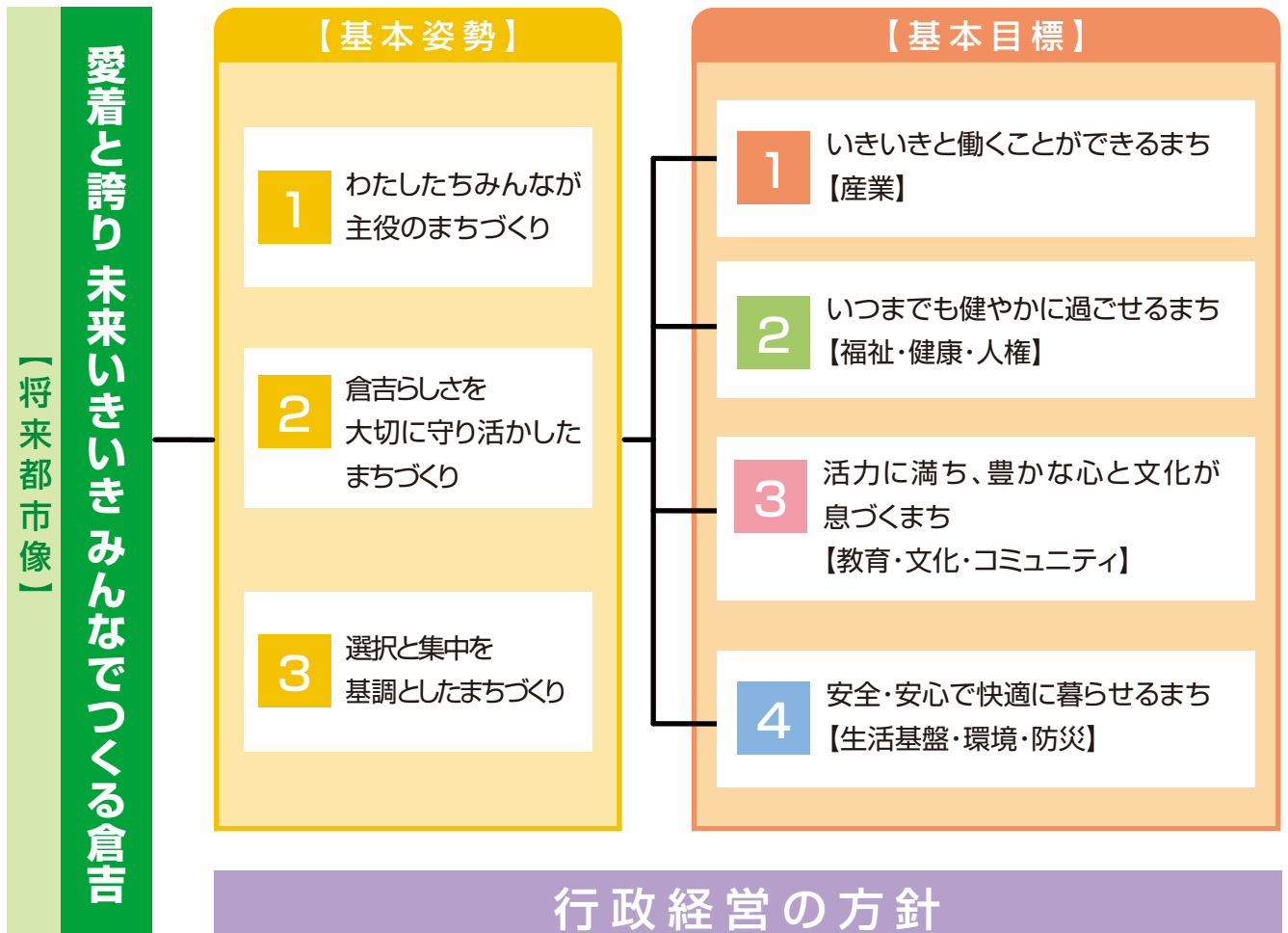
多様化・高度化している地域課題に素早く対応するために、自助・共助・公助をバランスよく組み合わせながら、さまざまな分野で市民と行政の連携・協働による取組をさらに強化することで、わたしたちみんなが主役のまちづくりを進めます。

基本姿勢2 倉吉らしさを大切に守り活かしたまちづくり

今後ますます厳しくなる都市間競争を踏まえて、まちの自立性を高めていくため、豊かな自然環境、都市機能の既存ストック、豊かな歴史と伝統文化など、倉吉ならではの多彩な魅力や特徴を大切に守り活かし、他の都市には決して真似のできない、個性豊かなまちづくりを進めます。

基本姿勢3 選択と集中を基調としたまちづくり

わたしたちみんなが住み慣れた地域の中で、安心して暮らすことができる持続可能な地域社会を確立していくため、まち全体から見た重要性や緊急性などを十分考えながら、限りある行政資源をより効果的・効率的に配分する「選択と集中」に基づくまちづくりを進めます。



◆戦略プロジェクト

将来都市像「愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉」の実現に向け、特に取り組むべき基本テーマを「誇りと夢を持つ定住の促進」とし、まちづくりの方針(施策の体系)の中から分野横断的に進める施策群を設定します。

基本テーマ 「誇りと夢を持つ定住の促進」

★ 子どもたちの笑顔あふれるまちをつくるために

すべての親が倉吉市で子育てをする喜びを実感でき、子どもたちがこのまちで生まれ育ったことに愛着と誇りを持てるよう、地域ぐるみで子どもたちの笑顔あふれるまちづくりを進めます。

<施策群>

- 子どもを産み、育てやすいまちをつくる
- 仕事と子育てが両立でき、子どもを持つことを社会全体で応援する
- 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する
- 子どもたちの心身ともに健やかな成長をうながす



★ 若者たちが住み続けたい、住んでみたいまちをつくるために

倉吉の産業を元気にすることで、市外在住者を含む多くの若者たちにとって魅力ある雇用の場を確保するとともに、ゆとりと潤いを感じながら安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを進めます。



<施策群>

- 農林水産業を起点とした六次産業(倉吉ブランド)を確立する
- 農林水産業の魅力と可能性を最大限に引き出し、活力を高める
- ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える
- 観光・コンベンションを基軸に、まちの集客力を高める
- にぎわいのあるまちなかを再生する
- ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える

★ だれもがいきいきと活躍できるまちをつくるために

自助・共助・公助を適切に組み合わせながら、高齢者を含めただれもが住み慣れた地域の中で、いつまでも自立していきいきと自分らしく活躍することができるまちづくりを進めます。

<施策群>

- みんなで支え合い、助け合える環境をつくる
- 高齢者が生涯現役で活躍できるまちをつくる
- 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める
- 地域における人と人の結びつきを強め、地域力を高める
- 市民参画と協働のまちづくりを支える仕組を充実させる



◆基本目標とまちづくりの方針(施策の体系)

1

いきいきと働くことができるまち

【産業】

農林水産物や地場産品、長い歴史と伝統に培われた観光地など、さまざまな地域資源のブランド力を高めて多様なものづくりを積極的に展開し、市外からの所得を産み出すことでみんながいきいきと働けるまちを目指します。

まちづくりの方針(施策の体系)

1 新たな時代を切り拓く、活力ある 農林水産業を振興する(農林水産業)

- 地域ブランドの商品開発やその販路拡大など、農林水産業を起点とした六次産業※の確立に向けた取組を積極的に進めます。
- 農林水産業の魅力と可能性を最大限に引き出し、担い手を育成しながら、地域の活力を産み出せる農林水産業を振興します。

※六次産業

地域で生産された農林水産物(1次産業)を素材に、商品を加工(2次産業)し、付加価値を高めて流通・販売(3次産業)する産業形態のこと。



2 より多くの所得を産み出せる、 ものづくり産業の基盤を整える(製造業)

- 既存企業の支援とともに、地域経済の活性化に欠かせない食品、環境・エネルギー関連企業などの企業誘致を進めます。
- 倉吉市で働きたい若者を育てながら、より多くの人たちがいつまでもいきいきと働くことができる環境を整えます。



3 市内外からより多くの人たちと消費を まちに引き込む(商業・観光・サービス)

- 観光資源を磨き上げ、地域特性を活かしてコンベンションの誘致・開催を進め市外からより多くの人々と消費を引き込みます。
- 個性豊かな商店街づくりを支援し、市内での消費を促すことで、サービス業の振興や地域内での起業を振興します。



2

いつまでも健やかに過ごせるまち

【福祉・健康・人権】

子育て家庭や一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人たちをみんなで協力しながら支え合い、だれもがいつまでも健やかに、いきいきと、自分らしく過ごすことができるまちを目指します。

まちづくりの方針（施策の体系）

1 子どもを産み、育てる喜びを 実感できるまちをつくる（子育て）

- 地域の中で安心して子どもを産み、健やかに育てられる環境づくりを進めます。
- 結婚生活や子育ての素晴らしさを伝え、結婚を望む人たちに出会いの場を提供するなど、子どもを持つことを応援します。



2 自分らしくいきいきと過ごせるまちをつくる（福祉）

- 自助・共助・公助を適切に組み合わせながら、地域全体でお互いを助け合える環境づくりを進めます。

3 だれもが健康で安心して 暮らせるまちをつくる（健康）

- 「自分の健康は自分で守る」という基本原則のもと、一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進めます。
- かかりつけ医を持つための支援や小児医療体制の構築など、地域での医療体制の充実に取り組みます。



4 お互いを認め、尊重し合えるまちをつくる （人権・男女共同参画）

- 門地（家柄）、出生、障がい、性別、国籍などにかかわらず人権が尊重され、だれもがお互いの立場を認め合い、理解し合い、協力し合える関係づくりを進めます。
- さまざまな分野でいきいきと活躍できる社会の実現に取り組みます。

3

活力に満ち、豊かな心と文化が 息づくまち

【教育・文化・コミュニティ】

生涯学習・スポーツの場を提供します。

自然・伝統文化などの倉吉市の良さを守り、育て、伝えていくための取組を進めます。

より多くの人達がまちづくりの担い手として活躍できる仕組を充実させることで、地域主体のまちづくりの展開を支援し、活力に満ちあふれ、豊かな心と文化が息づくまちを目指します。

まちづくりの方針（施策の体系）

1 次代を担う子どもたちの確かな 学力と豊かな人間性を育む(教育)

- 家庭・地域・学校が一体となった教育を進め、健やかな成長を支える教育環境を整えます。
- 特別な支援が必要な子どもたち一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に取り組みます。



2 だれもが生涯にわたって、いきいきと 学べる環境を整える（文化・スポーツ）

- ライフサイクルに応じた学習・スポーツ機会などの提供を進めます。
- 歴史文化遺産や伝統文化の保全や文化・芸術活動の振興に取り組みます。



3 みんなが常日頃から協力し、 助け合える関係をつくる(コミュニティ)

- 日頃の近所づきあいやコミュニティ活動の重要性への意識の啓発に取り組みます。
- より良い地域社会の形成に向けた自主的・自発的なまちづくり活動への支援を強化します。



4

安全・安心で快適に暮らせるまち

【生活基盤・環境・防災】

だれもがいつまでも住み続けたい、住んでみたいと思える魅力とうるおいに満ちあふれた倉吉市の確立に向け、暮らしと経済活動を支える生活基盤施設の整備や維持管理を計画的に進めます。

市民の参画と協働に支えられたまちづくりを展開し、みんながより安全・安心で快適に暮らせるまちを目指します。

まちづくりの方針（施策の体系）

1 だれもが愛着を感じ、住み続けたいと思えるまちをつくる(生活基盤)

- 自然環境と都市的機能がバランスよく調和した土地利用や、地域特性を活かした地域住民主体のまちづくりを進めます。
- 交通アクセス機能の向上や、快適な暮らしを支えるライフラインの適切な維持管理に取り組みます。



2 みんなで地球環境にやさしいまちをつくる（環境）

- 個人、家庭、自治公民館、市民活動団体、事業者及び行政など、地域社会のみんながそれぞれの責任と役割に応じて実施する地球環境にやさしい取組の、着実な普及・浸透を図ります。



3 災害に強く、犯罪や事故のない、安全・安心なまちをつくる(防災・防犯)

- 災害に日頃から備える心構えを醸成するとともに、自助・共助に根差した地域主体の防災活動を進めます。
- 犯罪が起きにくい安全で安心なまちをつくるため、地域主体の防犯・事故防止体制を強化します。



◆将来都市像の実現に向けて(行政経営の方針)

以下の行政経営の方針に基づき、限りある行政資源をより一層効果的・効率的に活用しながら、ビジョンに基づくさまざまな取り組みを着実に進めます。

経営方針1 市民参画と協働のまちづくりを支える仕組の充実

行政サービスに対するニーズの多様化・高度化を踏まえ、個人、家庭、自治公民館、市民活動団体及び事業者などのさまざまな主体と行政が役割分担をしながら、より安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを進めるための協働の仕組を充実させます。

経営方針2 目的志向・成果重視の行政経営の推進

「計画⇒実施⇒点検・評価⇒改革・改善」のサイクルに基づく目的志向・成果重視のまちづくりを進めます。職員一人ひとりの意識改革や能力開発、より少ないコストでより高い成果を上げられる行政体制の確立に取り組みます。周辺4町が抱える共通の課題に対し、これまで以上に連携を進めたまちづくりに取り組みます。



経営方針3 財政の健全性の確保

財政の健全化を着実に進めるため、市民の理解と協力を得ながら、職員の定数やコストの削減などだけでなく、施設の管理・運営面を含めた行政サービスへの民間活力の活用、サービス受益者の公平で適正な負担、市税をはじめとする安定した自主財源の確保など、全職員が一丸となり、さらに徹底した行財政改革に取り組みます。

経営方針4 双方向型の情報提供の充実

さまざまな主体とビジョンに掲げた目的・目標を共有して役割分担をしながら、互いに連携して地域課題の解決に取り組めるよう、分かりやすい行政情報の提供や、広報広聴活動など、協働のまちづくりを支える双方向型の情報提供を充実させます。

編集・発行 鳥取県倉吉市企画振興部総合政策課

〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722番地 (0858)22-8161 kikaku@city.kurayoshi.lg.jp